

年間授業計画

令和4年度・教科[公民]・科目[現代社会]

No. _____

学級又は班	31	32	33	34	35
担当者					

単位数	使用教科書・教材
2	高等学校 新現代社会 帝国書院・ロージョン現社 浜島書店

教科・科目のねらい(目標)	①現代社会における様々な問題や事象に対する関心と課題意識を高め、主体的に社会参画しようとする意欲と態度の育成に努める。②政治・経済・国際社会等に関する学習を通じて、公民科における基礎、基本的な学力の育成を目指し、社会人として自立した生活を営む上で必要となる知識の習得を目指す。③今日のグローバル化に対応するために、社会の多様化と持続可能な社会への理解を深め、学習内容を自らの行動に移すことができる能力の育成に努める。
---------------	--

学期	月	指導項目	指導内容	予定時数
1 学期	4	現代の民主政治と私たちの生活	①この国で生活するものとして、知っておきたい「この日」に着目させる ②現代社会の特質と社会生活 ③青年期の意義と自己実現 ④個人と国家	6
	5	現代の民主政治と私たちの生活	①基本的人権と法の支配 ②日本国憲法の基本原理 ③自由権的基本権 ④社会権的基本権 ⑤平等権 ⑥憲法第9条と日本の安全保障 ⑦請求権と参政権 ⑧公共の福祉と新しい人	8
	6	現代の民主政治と私たちの生活	①国会 ②内閣 ③裁判所 ④地方自治 ⑤選挙制度と日本の戦後政治の流れ ⑥世論形成と政治参加 ⑦行政の民主化と諸課題 ⑧日本の政治における諸問題	10
	7	現代に生きる私たちの課題	①世界の政治体制 ②科学技術の発達と現代社会 ③国際連合の役割 ④貧困、平和、国際的な人権保障 ⑤地球的課題における日本の役割	6
2 学期	9	現代の社会と人間としてのあり方 生き方	①企業の役割と社会的責任 ②市場のしくみ ③需要と供給 ④景気変動	8
	10	現代の社会と人間としてのあり方 生き方	①政府の経済的役割 ②財政のしくみと税金 ③金融機関のはたらき ④日本経済のあゆみ	8
	11	現代の社会と人間としてのあり方 生き方	①中小企業の現状と諸問題 ②農業と食料問題 ③今日の労働問題 ④社会保障と福祉社会	8
	12	現代の社会と人間としてのあり方 生き方	①公害防止から環境保全へ ②消費者問題と消費者主権 ③世界の経済体制の動向 ④国際分業と貿易	8
3 学期	1	国際政治、国際経済の動向と日本の役割	①第二次世界大戦後の国際社会 ②国家主権と国際法 ③国際協力と国際組織の役割 ④発展途上国の経済と南北問題	6
	2	民主社会の倫理 1年間の学習のまとめ	①人間の尊厳と生命の尊重 ②自由で平等な社会に向けて	2
	3			
年間予定授業時間数				70

評価の観点・方法	評価の観点は、1 公民的事象に対する意欲・関心 2 公民的事象に対する思考・判断 3 公民的事象に対する技能・表現 4 公民的事象に対する知識・理解 以上の4つを規準とし、学習内容に応じて重みづけをする。評価方法は、1 授業態度及び出席状況 2 学習プリントへの取り組み、提出状況等 3 単元ごとの小テスト等の結果 4 学期末確認テストの成績などにより、総合的に評価を行う。
----------	---

備考	本校生徒の希望進路と実態に即して、学習内容を精選するとともに順番を前後する。第1部の課題学習は、テーマ学習などのかたちで適宜取りあげる。
----	--